

しゅ いの 主の祈り

てん われ ちち
天にまします我らの父よ、

な き
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。み国を来たらせたまえ。

てん ち
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われ にちよう かつ きょう あた
我らの日用の糧を今日も与えたまえ。

われ つみ もの われ われ つみ
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。

われ
我らをこころみにあわせず悪より救い出したまえ。

くに さか かぎ
国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。アーメン。

にほん きりすと きょうだん しんこう こくはく 日本基督教団信仰告白

われ しん こくはく
我らは信じかつ告白す。

きゅうしんやくせいしょ かみ れいかん な あかし ふくいん しんり
旧新約聖書は、神の靈感によりて成り、キリストを証し、福音の真理

しめ きょうかい よ ゆいいつ せいてん せいしょ せいれい
を示し、教会の拠るべき唯一の正典なり。されば聖書は聖霊によりて、

かみ すく まった ちしき われ あた かみ ことば しん
神につき、救いにつきて、全き知識を我らに与うる神の言葉にして、信

こう せいかつ あやま きはん
仰と生活との誤りなき規範なり。

しゅ けいじ せいしょ あかし
主イエス・キリストによりて啓示せられ、聖書において証せらるる

ゆいいつ かみ ちち こ せいれい さんみいつたい かみ み こ
唯一の神は、父・子・聖霊なる、三位一体の神にていましたもう。御子

われ つみびと すく ひと な じゅうじか おのれ
は我ら罪人の救いのために人と成り、十字架にかかり、ひとたび己を

まった いけにえ かみ われ あがな
全き犠牲として神にささげ、我らの贖いとなりたまえり。

かみ めぐ われ えら しん しんこう われ
神は恵みをもて我らを選び、ただキリストを信ずる信仰により、我ら

つみ ゆる ぎ か めぐ せいれい われ
の罪を赦して義としたもう。この変わらざる恵みのうちに、聖霊は我ら

きよ ぎ み むす み わぎ じょうじゅ
を潔めて義の果を結ばしめ、その御業を成就したもう。

きょうかい しゅ からだ めぐ め もの つど
教会は主キリストの体にして、恵みにより召されたる者の集いなり。

きょうかい おおやけ れいはい まも ふくいん ただ の つた しゅ
教会は公の礼拝を守り、福音を正しく宣べ伝え、バプテスマと主の

ばんさん せいれいてん と おこな あい はげ しゅ ふたた きた
晩餐との聖礼典を執り行い、愛のわざに励みつつ、主の再び来りたも

ま のぞ
うを待ち望む。

われ しん よよ せいと とも しとしんじょう こくはく
我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白す。

われ てんち つく ぬし ぜんのう ちち かみ しん われ ひと こ われ
我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの

しゅ しん しゅ せいれい おとめ
主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより

うま くる う じゅうじか
り生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、

し ほうむ よみ みつかめ しにん
死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天

のぼ ぜんのう ちち かみ みぎ ざ
に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこより来りて、生け

もの し もの さば われ せいれい しん せい こうどう きょうかい
る者と死ねる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、

せいと まじ つみ ゆる からだ とこしえ いのち しん
聖徒の交わり、罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。

アーメン。